

# 第 4 章

## 施策の展開

- ◇基本目標 I 市民・地域・行政等が協働で取り組むまち
- ◇基本施策 【1】市民との協働による地域づくり
- ◇取組事項 (1) 協働を推進する地域づくり

## ① 地域における協働の推進体制の整備

### 目標（目指す姿）

- ・地域福祉を推進していくために、市民活動団体同士や関係機関が地域において連携できる体制ができている。

### ■ 現状と課題

- ・市民アンケートでは、「地域づくりは、住民・地域の組織・行政などが共に協力して取り組むべきだ」と答えた方が57.2%と半数を超えており、市民・地域・行政が連携できる体制づくりが求められています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・地域の協働事業の支援をします。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・身近なつながりや関わりのある活動を通じて、市民同士や団体間で交流をしてみましょう。

#### 【地域】

- ・団体間で情報共有や交流をし、地域での活動に協力して取り組むなど、連携をとるとともに、それぞれの活動を発展させていきましょう。

### ◇桶川市市民活動サポートセンターをご存知ですか？

桶川市内で活動している市民活動団体や、これから地域で活動を始めた  
と思っている市民のための施設です。交流サロンや地域活動情報コー  
ナー等があり、会議室も無料で利用できます。

場所：ベニバナウォーク桶川1階（桶川市下日出谷東2丁目15番地の1）

- ◇基本目標 I 市民・地域・行政等が協働で取り組むまち
- ◇基本施策 【1】市民との協働による地域づくり
- ◇取組事項 (2) 活動支援や交流・連携の推進

## ② 市民や団体との地域づくり

### 目標（目指す姿）

- ・地域の中で、市民や相談・支援機関、社会福祉法人等団体同士のつながりや支え合いの仕組みがあり、互いの力や意欲を活かしながら地域福祉を推進している。

### 現状と課題

- ・市民アンケートでは、「住民同士が交流できる機会がある」との問いに対し、45.2%の方が「思わない」、「あまり思わない」と回答しており、交流する機会が不足している現状が見られます。市民や団体とのネットワークを強化していく必要があります。

### 行政等で取り組むこと

- ・市内の地域福祉活動、ボランティア活動の支援をします。
- ・イベントを通じて、市民や団体同士が交流、つながりの機会をもてる場の提供をします。
- ・子育て支援ネットワークづくりを推進します。

### 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・隣近所や地域での行事、活動に関心を持ちましょう。
- ・積極的に交流の場に参加し、地域とのつながりを持ちましょう。

#### 【地域】

- ・市民が気軽に集まったり、活動等に参加してつながりを持てる機会を増やしましょう。
- ・地域の中で、市民や団体が分野を超えて連携し、互いの活動を発展させていきましょう。

#### ◇おけがわ春のふれあいフェスタをやってるよ!!

毎年5月の第2日曜日にみどり豊かな駅西口公園で、こどもも大人も、障がいのある人もみんなでふれあえるイベントを行っています。

場所：駅西口公園（桶川市若宮1丁目5）

- ◇基本目標 I 市民・地域・行政等が協働で取り組むまち
  - ◇基本施策 【1】市民との協働による地域づくり
  - ◇取組事項 (2) 活動支援や交流・連携の推進
- 

### ③ 地域における活動の場や交流機会の提供

#### 目標（目指す姿）

- ・地域の中で、様々な年代や立場の人が交流でき、意欲をもって活動できる場所や機会がある。

#### ■ 現状と課題

- ・市民アンケートでは、「今後、地域での支え合いを促進するためには、何が必要だと思いますか」との問いに対し、「身近な近所同士の交流を深め、よりよい人間関係をつくること」と答えた方が36.8%となっており、交流を推進していく取組が求められています。

#### ■ 行政等で取り組むこと

- ・地域における活動・交流の場を提供します。

#### ■ 市民・地域でできること

##### 【市民】

- ・地域の活動や交流の機会に気軽に参加してみましょう。

##### 【地域】

- ・地域の中で、活動場所や交流機会となるような居場所をつくったり、発信したりしてみましょう。

- ◇基本目標 I 市民・地域・行政等が協働で取り組むまち
- ◇基本施策 【1】市民との協働による地域づくり
- ◇取組事項 (2) 活動支援や交流・連携の推進

#### ④ 市民参加型の地域づくり

#### ★重点取組

##### 目標（目指す姿）

- ・ 様々な年代や立場の人が地域福祉の発展のために自由に意見を出し合える場がある。
- ・ 課題や情報を皆で共有し、互いの立場や多様な意見を尊重しながら交流する機会がある。

##### ■現状と課題

- ・ 市民アンケートの回収率は約 37%と低く、市民の声、現場の声を地域福祉計画にどう反映していくかが課題となっています。地域福祉計画を推進していくためには、市民の声、現場の声を聞きながら課題を整理していく場を設ける必要があります。

##### ■行政等で取り組むこと

- ・ 市民ワークショップを企画します。
- ・ 市民ワークショップの場の創出をします。

##### ■市民・地域でできること

###### 【市民】

- ・ 市民ワークショップに参加してみましよう。

###### 【地域】

- ・ 地域の中でも地域福祉についての意見や問題点を話す機会を作ってみましよう。

##### ◇ワークショップってどんなことをするの？

参加者一人一人の主体性が重視され、テーマに沿ってお互いに意見を出し合ったり協力し合ったりしながら、学びや気づきを得るイベントです。ワークショップを通じて、身近な地域の現状と課題を整理し、市民・地域と協働で地域を作っていきます。

- ◇基本目標      Ⅱ 市民・地域の意欲と力を活かすまち
- ◇基本施策      【2】市民の主体的な参画による地域づくり
- ◇取組事項      (3) 地域活動（団体）への支援

## ⑤ ボランティア団体、NPO等活動支援

### 目標（目指す姿）

- ・市民の主体性を活かして、多様な分野に取り組むボランティア団体、NPO等の活動が実現するように、必要な支援や情報発信が行われている。
- ・ボランティアをしたい人とボランティアを必要としている人（団体）がつながれる仕組みがある。

### ■ 現状と課題

- ・市民アンケートでは、「どのようなきっかけがあれば、より多くの方がボランティアや地域活動等に参加しやすくなると思いますか」との問いに対し、「気軽に参加できる雰囲気がある」と答えた方が54.9%、「都合のよい時（時間・日にち）に参加できる」と答えた方が51.5%となっています。ボランティア活動やNPO等の活動を推進するために、ボランティアをしたい人とボランティアを必要としている人（団体）のマッチングが円滑に行える仕組みが求められています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・ボランティア活動の支援を行います。
- ・地域活動の支援及び情報発信を行います。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・興味のある分野や内容の活動に参加してみましょう。
- ・地域の人たちが、どのようなボランティア活動を行っているのか関心を持ちましょう。

#### 【地域】

- ・ボランティア・市民活動ネットワーク（ボランティア・市民活動の啓発や普及を行う連絡組織）を活用してみましょう。
- ・地域の中でボランティア活動の情報を共有しましょう。

- ◇基本目標     Ⅱ 市民・地域の意欲と力を活かすまち
- ◇基本施策     【2】市民の主体的な参画による地域づくり
- ◇取組事項     (3) 地域活動（団体）への支援

## ⑥ 町内会や自治会、地区社会福祉協議会の活動促進

### 目標（目指す姿）

- ・地域における身近なつながり、支えあいを担う組織である町内会や自治会、地区社会福祉協議会の活動を促進し、支え合いの地域づくりができています。

### ■ 現状と課題

- ・近年自治会の加入率は減少しており、地域の関わりの希薄化が課題となっています。
- ・桶川市には地区社会福祉協議会が8地区に設置されており、住民自身が自分たちの生活する地域の福祉課題を主体的にとらえ、その課題解決に向けた自主的な活動を行っています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・自治会活動の支援をおこないます。
- ・市内全域における地区社会福祉協議会の設置を推進します。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・身近な地域の行事等に積極的に参加しましょう。

#### 【地域】

- ・地域の人材やネットワークを活かした活動に取り組みましょう。
- ・地域住民の暮らしの変化に柔軟に対応し、今まで地域とつながりの無かった人も地域活動に参加できるよう工夫しましょう。

#### ◇地区社会福祉協議会をご存じですか？

地区社会福祉協議会では、身近な顔の見える関係づくりをめざして、健康増進の体操や居場所づくりの茶話会、バザーや学校校庭の手入れのお手伝いなど、全国の皆さんが様々な活動に自主的に取り組んでいます。お住まいの地域に地区社会福祉協議会がない場合、新しく立ち上げてみませんか。

- ◇基本目標     Ⅱ 市民・地域の意欲と力を活かすまち
- ◇基本施策     【2】市民の主体的な参画による地域づくり
- ◇取組事項     (4) 地域福祉を担う人材の育成

## ⑦ 福祉教育と啓発の推進

### 目標（目指す姿）

- ・福祉に関する学びや体験の機会を通じて、福祉に対する理解が深められ、共に支えあえる地域となっている。

### ■ 現状と課題

- ・市民アンケートでは、「今後、地域での支え合いを促進するためには、何が重要だと思いますか」との問いに対して、「学校等で福祉教育を進める」と答えた方が15.8%と、令和元年度の6.8%から大幅に伸びており、福祉教育の機会の重要性がうかがえます。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・福祉教育・学習機会を充実させます。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・地域の中で支援を必要としている人について関心を持ち、理解を深めましょう。
- ・講座や体験の機会に積極的に参加しましょう。

#### 【地域】

- ・地域活動の中で、多様な立場の人が地域で支え合うための勉強会などの機会をつくりましょう。

- ◇基本目標 II 市民・地域の意欲と力を活かすまち
- ◇基本施策 【2】市民の主体的な参画による地域づくり
- ◇取組事項 (4) 地域福祉を担う人材の育成

## ⑧ 地域福祉活動への参加促進

## ★ 重点取組

### 目標（目指す姿）

- ・市民一人ひとりが地域福祉に関心を持ち、地域の活動や、多様なボランティア活動等に気軽に参加できる機会がある。

### ■ 現状と課題

- ・市民アンケートでは、「地域活動やボランティア活動が盛んである」との問いに対して、「あまり思わない」、「思わない」が42.2%となっており、福祉活動の周知及び参加促進のための取組が必要とされています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・福祉活動に関心を持てるようなボランティア体験を促進します。
- ・福祉活動の周知及び参加促進のための取組をします。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・福祉活動やボランティア活動に関心を持ち、地域で行われている身近な活動に積極的に参加してみましょう。

#### 【地域】

- ・地域で気軽に参加できる活動を行ってみましょう。
- ・市民へ活動内容を積極的に発信していきましょう。

◇桶川市地域福祉活動センター（地活）<sup>ちかつ</sup>に足を運んでみませんか？

地活は、住み良い地域社会の形成と地域福祉の推進を目的とし、地域福祉活動の拠点となる公共施設です。ボランティアや福祉団体、活動団体等地域福祉に関わる人材の育成をするとともに、活動の場となっています。

住所：桶川市末広2丁目8番8号 ☎：048-729-8378

- ◇基本目標      Ⅱ 市民・地域の意欲と力を活かすまち
- ◇基本施策      【2】市民の主体的な参画による地域づくり
- ◇取組事項      (4) 地域福祉を担う人材の育成

## ⑨ 地域で活躍する人材の育成

### 目標（目指す姿）

- ・若い世代にも地域福祉に関わりを持ってもらい、これからの地域福祉を担う次世代の人材を桶川市全体で育成している。

### ■ 現状と課題

- ・少子高齢化や核家族化により、地域福祉においても担い手不足が問題となっています。地域住民の暮らしの変化に柔軟に対応し、様々な形態で地域福祉に関われるような仕組みづくりが求められています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・福祉人材（手話通訳者、奉仕員）を養成します。
- ・地域の様々な分野で活躍する人材を育成します。
- ・様々な特技をもつ市民・団体の情報を集約し、活用していきます。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・講座に参加したり、人材バンクに登録するなど、地域活動に積極的に参加しましょう。

#### 【地域】

- ・地域の人材を発掘し、地域行事や活動の場に関わってもらう機会をつくりましょう。
- ・地域住民の暮らしの変化に柔軟に対応し、気軽に地域活動に参加できるよう工夫しましょう。

- ◇基本目標 Ⅲ 相互理解と支え合いを育てるまち
- ◇基本施策 【3】 地域でのつながりをもち支え合う地域づくり
- ◇取組事項 (5) 支え合う地域づくり

## ⑩ 孤立防止のための見守りや声かけの推進

### 目標（目指す姿）

- ・地域の中で誰もが孤立することなく、何らかの生活上の困難を抱える場合でも、早期に発見して適切な支援につなげられるよう、日常での見守りや声かけを通じた安否確認の体制が充実している。

### ■ 現状と課題

- ・市民アンケートでは、「地域から孤立した生活にならないために、あなたが有効だと思う方法は何か」との問いに対し、「近所などでの声掛けや見守り、助け合いの活動」と答えた方が45.1%となっており、地域における見守りや声掛け活動の推進が求められています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・地域における多様な見守りや声掛け活動を推進します。
- ・孤独・孤立対策における関係機関の連携を強化します。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・地域で支援を必要とする人や気になる人がいたら、見守りや声掛けをしましょう。
- ・日頃からできる範囲で近隣同士が顔の見える関係を持ちましょう。

#### 【地域】

- ・地域の中で、孤立している人を把握し、見守りや声掛け等を行いましょ。
- ・誰でも気軽に参加できる活動や居場所づくりを地域で行っていきましょう。



#### ◇ご存じですか？地域の身近な相談相手

「民生委員・児童委員」は、市民の「見守り役」「身近な相談相手」「専門機関へのつなぎ役」として活動しています。お気軽にご相談ください。

地域の民生委員・児童委員が知りたい場合は、桶川市役所社会福祉課へ（788-4933）

- ◇基本目標 III 相互理解と支え合いを育てるまち
- ◇基本施策 【3】 地域でのつながりをもち支え合う地域づくり
- ◇取組事項 (5) 支え合う地域づくり

## ⑪ 生活困窮者への支援 ★ 重点取組

### 目標（目指す姿）

- ・ 経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなるおそれがある方に対し、意思を尊重しながら生活を立て直し、自立した生活を送ることができるよう、※横断的な支援が行われている。

### ■ 現状と課題

- ・ 経済的な困窮をはじめとして、生活困窮者の抱える課題は複雑で多様化しています。相談者に寄り添いながら、従来の縦割りの支援ではなく他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行っていくことが求められています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・ 生活の相談事業や就労支援を充実させます。
- ・ 生活に困窮している家庭、子どもに対する学習支援を行います。
- ・ 福祉資金の貸出しを行います。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・ 地域の中で問題を抱えている人がいないか気をつけ、必要に応じて行政等の相談機関につなげましょう。

#### 【地域】

- ・ 地域の中で、様々な課題を抱えている人がいる現状を把握し、地域全体で見守り、声掛けや必要に応じて相談機関へつなげましょう。

#### ※ 横断的な支援とは

一つの支援機関だけでは解決に導くことが難しいような複雑、複合的な課題を持つ方を関係機関が協力して支援していくことです。

- ◇基本目標 IV 誰もが安心していきいきと暮らすことのできるまち
- ◇基本施策 【4】 必要な支援を安心して利用できる地域づくり
- ◇取組事項 (6) 必要な支援につなげる地域づくり

## ⑫ 情報提供の充実

### 目標（目指す姿）

- ・地域における様々な活動、サービスや支援についての情報を地域の中で共有できる仕組みを整えるとともに、様々な媒体による情報発信を通じて情報を求めている人に、わかりやすく適切に情報が届いている。

### ■ 現状と課題

- ・市民アンケートでは、「相談窓口・組織を知っていますか」との問いに対し、「どれも知らない」と答えた方が14%となっており、情報が不足していることがわかります。認知度の向上が課題となっています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・多様な媒体による情報の提供を行います。
- ・情報を得ることが困難な人への情報発信方法を工夫します。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・自分の知っている地域生活に関わる情報を、周囲で必要としている人に提供しましょう。

#### 【地域】

- ・地域の中で、福祉活動やボランティア活動等に関する情報を共有し、様々な媒体で発信してみましょう。

#### ◇情報発信方法にはどんなものがあるの？

さまざまな年代の方たちへ情報を届け、また希望やニーズを共有するために、ウェブサイト、SNS（ソーシャルネットワークサービス）などが活用されています。たとえば、X（旧ツイッター）やFacebook、Instagram、YouTubeやTikTokなどを、情報発信・集約のツールとして利用することができます。

- ◇基本目標 IV 誰もが安心していきいきと暮らすことのできるまち
- ◇基本施策 【4】 必要な支援を安心して利用できる地域づくり
- ◇取組事項 (6) 必要な支援につなげる地域づくり

### ③ 包括的な相談支援体制の充実

### ★ 重点取組

#### 目標（目指す姿）

- ・相談者の属性や世代、相談内容に関わらず、包括的に相談を受け止め、寄り添い、関係機関と連携しながら支援が行われている。

#### ■ 現状と課題

- ・社会福祉課と社会福祉協議会で行っている、福祉総合相談窓口の令和5年度延べ相談件数は、4,393件となっています。複雑化・複合化した課題を包括的に受け止める相談支援体制の充実とともに、様々な機関と連携して支援を行うことが、課題解決に向けて重要となっています。

#### ■ 行政等で取り組むこと

- ・重層的支援体制整備事業により、相談者の属性や世代、相談内容に関わらず、包括的に相談を受け止め支援します。
- ・重層的支援会議を開催し、関係機関の役割分担、支援の方向性を整理し、関係機関と連携しながら支援を行います。

#### ■ 市民・地域でできること

##### 【市民】

- ・何か困り事があったときは、一人で抱え込まずに相談しましょう。

##### 【地域】

- ・地域の中で困っている人がいたら相談を促したり、相談窓口へつなぐなど、孤立しない地域づくりに取り組みましょう。

#### ◇重層的支援体制整備事業とは!?

「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施しています。地域福祉計画のP.33・P.37・P.40・P.42がこの事業に該当します。また、主な相談窓口としては、福祉総合相談窓口（桶川市役所社会福祉課、桶川市社会福祉協議会）があります。

- ◇基本目標 IV 誰もが安心していきいきと暮らすことのできるまち
- ◇基本施策 【4】 必要な支援を安心して利用できる地域づくり
- ◇取組事項 (6) 必要な支援につなげる地域づくり

## ⑭ 福祉サービスの向上

### 目標（目指す姿）

- ・ 各種研修や※苦情解決制度による解決などを通じて、各事業者の福祉サービスの質を向上させ、地域で必要な福祉サービスを受けられる体制が整っている。

### ■ 現状と課題

- ・ 市民アンケートでは、「必要な福祉サービスを利用できる」との問いに対し、「あまり思わない」、「思わない」と答えた方が 25.5%となっています。市民が必要な福祉サービスを受けられるよう、福祉サービスの質の確保と向上が求められています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・ 市の苦情等へ迅速に対応します。
- ・ 福祉サービス専門職員の確保と質の向上に取り組めます。
- ・ 誰もがいきいきと暮らせるよう、福祉サービスの充実を図ります。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・ 福祉サービスに関心を持ち、必要な時に適切なサービスを選択できるようにしましょう。

#### 【地域】

- ・ 福祉サービスを提供する事業所や関係機関（地域包括支援センター等）、苦情解決制度の仕組みなどの情報を地域の中で共有し、必要としている人に伝えましょう。

#### ※ 苦情解決制度とは

利用者個人の権利擁護、福祉サービスの適切な利用や提供を支援する仕組みの一つとして福祉サービスに関する苦情解決制度があります。

個々の事業者及び埼玉県運営適正化委員会（相談専用電話番号 048-822-1243）で相談を受け付けています。

- ◇基本目標 IV 誰もが安心していきいきと暮らすことのできるまち
- ◇基本施策 【5】 安心・安全でいきいきと暮らせる地域づくり
- ◇取組事項 (7) 安心・安全の地域づくり

## ⑮ 防災・防犯対策の充実

### 目標（目指す姿）

- ・日頃からの地域での見守りや声掛けにより、誰もが安心していきいきと暮らせる地域づくりができています。

### ■ 現状と課題

- ・市民アンケートでは、「地域で防犯や防災に取り組んでいる」との問いに対し、「そう思う」、「まあ思う」と答えた方が41.9%、「あまり思わない」、「思わない」と答えた方が36.4%となっています。地域によってばらつきが生じることなく、誰もが安全・安心に暮らせる地域づくりが求められています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・※避難行動要支援者制度の周知及び登録促進を行います。
- ・地域防犯対策を推進します。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・自らできる災害への備え（備蓄、避難経路の確認等）をしましょう。
- ・日頃から近隣の住民同士で見守りや声掛けを行いましょう。

#### 【地域】

- ・市や消防署等と協働して、防災意識の向上を図りましょう。
- ・地域の中で見守りや声掛けに取り組むとともに、警察等の関係機関と協働して、地域の防犯活動を推進しましょう。

#### ※ 避難行動要支援者制度とは

自分ひとりで移動したり、情報を得たりすることがおぼつかしく、災害が起きたときに手助けが必要な人を、身近な地域の人たちで支える仕組みです。

- ◇基本目標 IV 誰もが安心していきいきと暮らすことのできるまち
- ◇基本施策 【5】 安心・安全でいきいきと暮らせる地域づくり
- ◇取組事項 (7) 安心・安全の地域づくり

## ⑯ 緊急時の支援体制の充実

### 目標（目指す姿）

- ・一人暮らしの高齢者や支援を必要とする人が、自宅で生命に関わる緊急事態が発生した際に、早急に助けを呼べる地域での体制が充実している。

### ■ 現状と課題

- ・市民アンケートでは、「地域で安心して暮らすために、あなたが地域の人たちに手助けしてほしいことは何ですか」との問いに対し、「急病時の対応」と答えた方が18.7%となっています。
- ・令和5年度末時点で※緊急通報システム事業に登録している方は405人で、市民に緊急対策が必要とされていることがうかがえます。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・緊急時における支援体制の整備を行います。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・日頃から近隣同士で声を掛け合いましょう。
- ・必要があれば緊急通報システム等の制度を利用し、必要な人がいれば教えてあげましょう。

#### 【地域】

- ・地域の中で、支援を必要としている人をできる範囲で把握し、緊急時に助け合えるつながりをつくりましょう。

#### ※ 緊急通報システムとは

在宅のひとり暮らしの高齢者などの緊急事態に迅速かつ適切に対応するため、急病、災害その他の理由により緊急に援助を必要とする場合に、ペンダント型無線発信機と受信機を利用して電話回線を通じ埼玉県中央広域消防本部に通報するシステムです。

- ◇基本目標 IV 誰もが安心していきいきと暮らすことのできるまち
- ◇基本施策 【5】 安心・安全でいきいきと暮らせる地域づくり
- ◇取組事項 (7) 安心・安全の地域づくり

## ⑰ 権利を擁護する取組の実施

### 目標（目指す姿）

- ・何らかの事情によって自分の意思や考えを他者に伝えることができない、あるいは伝え方が弱いため、日常的に不利な立場に置かれている人が、本来持っている権利を活かして地域の中で自身が希望する生活を送れている。

### ■ 現状と課題

- ・市民アンケートでは、「あなた自身も含め、あなたの近所や地域には、次のような気にかかる人（支援が必要そうな人）がいますか」との問いに対し、「ひきこもりの人」が5.4%、「地域とのつながりがなく孤立している人」が8.3%と、地域から孤立していると思われる人を見受けられます。また、「高齢や障がいなどのため日常生活での金銭管理がうまくいかない人」が3%、「ケアラー・ヤングケアラー」が1.9%、「虐待が心配な人」が1.6%となっており、誰もが安心・安全に地域生活が送れるよう、権利擁護の取組の充実と、周知が必要となっています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・権利擁護事業を実施します。
- ・障がい者や児童の地域生活支援を充実させます。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・成年後見制度など、権利を守る制度を理解しましょう。
- ・虐待などが疑われる場合には、関係機関に連絡・通報しましょう。

#### 【地域】

- ・成年後見制度など、権利を守る制度を理解し、周知に取り組みましょう。
- ・地域で虐待の疑いを感じたら、早期に行政などの支援につなぎましょう。

#### ◇合理的配慮とは？

障害のある人へ配慮することは、権利を守り、大切にするための重要な方法です。また、障害を理由とした不利な取扱いを続けることは、行政や企業、団体や店舗だけでなく、個人にも禁じられています。

- ◇基本目標 IV 誰もが安心していきいきと暮らすことのできるまち
- ◇基本施策 【5】 安心・安全でいきいきと暮らせる地域づくり
- ◇取組事項 (7) 安心・安全の地域づくり

## ⑧ 成年後見制度の推進（成年後見制度利用促進計画）

### 目標（目指す姿）

- ・成年後見制度を必要とする人が、制度を利用することで、尊厳のある本人らしい生活を送れるよう、※地域連携ネットワークの活動を通じて必要な支援が行き届いている。

### ■ 現状と課題

- ・市民アンケートでは、「あなたは、日常生活の中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか」との問いに対し、「経済的なこと（失業して収入がない、認知症等で財産管理ができない等）」と答えた方が12.1%でした。成年後見制度を必要とする人が、利用できるようにするために、制度の周知が課題となっています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・地域連携ネットワークを推進します。
- ・成年後見制度の利用促進に取り組みます。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・成年後見制度を理解し、身近な人と話してみましよう。

#### 【地域】

- ・成年後見制度を理解し、身近な人と地域で話し、周知に取り組みましよう。
- ・認知症等で判断能力が十分でない人を地域で見守りましよう。

※ 地域連携ネットワークとは

市と地域包括支援センター、協力事業者等が相互に連携を図り、徘徊、虐待、孤立、消費者被害等のおそれのある高齢者を見守り、異常等を発見した際には、迅速な対応を行います。

- ◇基本目標 IV 誰もが安心していきいきと暮らすことのできるまち
- ◇基本施策 【5】 安心・安全でいきいきと暮らせる地域づくり
- ◇取組事項 (8) 誰もがいきいきと快適に暮らせるまちの整備

## ⑱ 誰にでもやさしいまちの推進

### 目標（目指す姿）

- ・ 地域にある施設などを誰もが利用しやすいように、ユニバーサルデザインの考えに基づき、公共交通機関や道路、公園なども含めた総合的なバリアフリーのまちづくりができています。

### ■ 現状と課題

- ・ 桶川市総合計画策定時の市民アンケートでは、「高齢者が安心して住み続けられるまちづくりとして、市が特に取り組むべきことは何だと思えますか」との問いに対して、「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」と答えた方が34.5%となっています。高齢者だけでなく、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりの推進が求められています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・ 安全に移動できる道路等の基盤整備を行います。
- ・ 利用しやすい施設の整備を行います。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・ 障がい等により、道路や駅、施設などの利用に際して、困っている人を見かけたら声をかけましょう。

#### 【地域】

- ・ 地域の中で、困っている人に対する声掛けを行うとともに、地域の声を関係機関と共有しましょう。

#### ◇「UDフォント」をご存じですか？

UDはユニバーサルデザインのことで、年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず、誰にとってもわかりやすい、使いやすいデザイン設計のことです。障がいのために特定の字体が読みづらい人もいます。この読みにくさを軽減するために「UDフォント」が開発されています。本計画でも「UDフォント」を使用しました。

- ◇基本目標 IV 誰もが安心していきいきと暮らすことのできるまち
- ◇基本施策 【5】 安心・安全でいきいきと暮らせる地域づくり
- ◇取組事項 (8) 誰もがいきいきと快適に暮らせるまちの整備

## ⑳ 外出や移動支援の取組

### 目標（目指す姿）

- ・様々な理由から外出が困難な人が、快適に日常生活を送れるよう、移動のための手段や支援が充実している。

### ■ 現状と課題

- ・市民アンケートでは、「地域で安心して暮らすために、あなたが地域の人たちに手助けしてほしいことは何ですか」との問いに対し、「ちょっとした買い物」が2.7%、「通院・外出などの手伝い」が5.2%でした。少子高齢化や核家族化が進み、外出が困難になる人が増えることが予想されることから、外出や移動時の助け合い、送迎等の外出支援サービスの充実などが重要となっています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・移動手段を確保し充実させます。
- ・高齢者や障がい者の方への外出を支援します。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・外出や、移動支援が必要な人に対して、できる範囲で協力しましょう。

#### 【地域】

- ・地域に外出や、移動支援が必要な人がいたら、行政等へつなげましょう。
- ・高齢や障がい等によって外出や買い物が難しい人に対して、できる範囲で助け合いましょう。

- ◇基本目標 IV 誰もが安心していきいきと暮らすことのできるまち
- ◇基本施策 【5】 安心・安全でいきいきと暮らせる地域づくり
- ◇取組事項 (8) 誰もがいきいきと快適に暮らせるまちの整備

## ② 健康でいきいきと暮らす取組

### 目標（目指す姿）

- ・地域でいつまでもいきいきと暮らすことができるよう、健康づくりや生きがいつくりのための取り組みが充実している。

### ■ 現状と課題

- ・市民アンケートでは、「地域で暮らす中で、『地域社会のふれあいの中で、共に支え合い、いきいきとした生活を送る』ことができていると感じますか」との問いに対し、「とても感じる」、「まあまあ感じる」と答えた方が26.7%、「あまり感じない」、「ほとんど感じない」と答えた方が37.9%となっています。生涯にわたり健康で笑顔あふれる生活を送れるよう、市民の健康づくりのための支援が求められています。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・市民の健康づくりの支援を推進します。
- ・高齢者の健康づくり事業を実施します。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・心身ともに健康でいられるよう、体操、健康に関する教室、スポーツなど、市民が交流しながら楽しんでできる活動に積極的に参加しましょう。

#### 【地域】

- ・地域で声を掛け合いながら、楽しく健康づくりができるように、市の事業や講座及び地域の自主的な活動の情報を周知しましょう。

- ◇基本目標 IV 誰もが安心していきいきと暮らすことのできるまち
- ◇基本施策 【5】 安心・安全でいきいきと暮らせる地域づくり
- ◇取組事項 (8) 誰もがいきいきと快適に暮らせるまちの整備

## ② 再犯防止の推進（桶川市再犯防止推進計画）

### 目標（目指す姿）

- ・ 犯罪をした人の立ち直りを支え再犯者数が減少している。また、市民が再犯防止や非行防止に関する理解を深め、再犯防止の取り組みが充実している。

### ■ 現状と課題

- ・ 犯罪をした人の立ち直りには就労困難や住居の確保の難しさなど様々な壁が存在し、それらが再犯へのリスク要因となっていることから、要因を減らすための支援が必要です。また、立ち直りを支える保護司や非行のない地域づくりを進める更生保護女性会等の関係団体との連携や支援も重要です。
- ・ 上尾警察署管内では、刑法犯検挙者に占める再犯者の割合である「再犯者率」が、45～50%で推移しており、約2人に1人という結果となっているため、再犯を防止するための施策に一層取り組んでいく必要があります。

### ■ 行政等で取り組むこと

- ・ 生活の相談事業や就労支援を充実させます。
- ・ 保護司会や更生保護女性会等、更生保護団体の活動を支援し、連携します。
- ・ 広報、啓発活動を通じた再犯防止活動への理解向上を推進します。

### ■ 市民・地域でできること

#### 【市民】

- ・ 再犯防止や非行防止の取り組みや協力をしている保護司や更生保護女性会等の民間協力者に関心を持ち、できることがあれば協力しましょう。

#### 【地域】

- ・ 再犯防止や非行防止の取り組みや協力をしている保護司や更生保護女性会と連携し、「社会を明るくする運動」等の更生保護活動への理解促進に取り組みましょう。